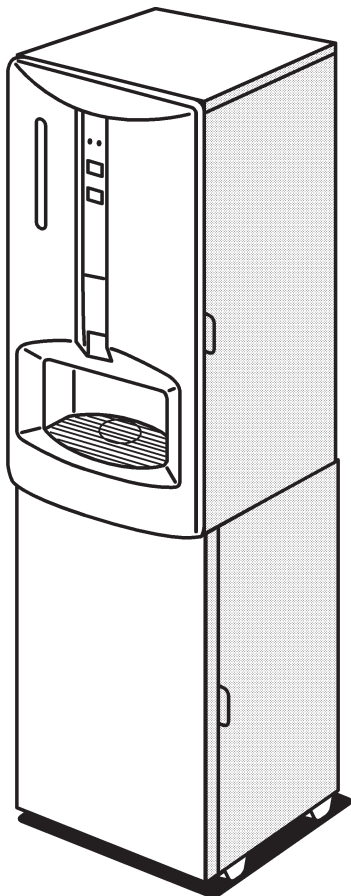


自動お茶いれ機 取扱説明書

形 名

HPT-117M₁
HPT-117MP₁
HTC-118M₁
HTC-118MP₁
HTC-118MP₁-1



もくじ

安全上のご注意	1～3
お願い	4
据付場所・給水方式・排水方式	4
各部のなまえとはたらき	5
はじめてご使用になる前に	6
給水のしかた	7
排水のしかた	7
お茶・お湯の出しかた	7
茶の葉の入れかたと交換条件	8
原料の入れかた	8
湯温を設定する	8
湯量を設定する	9
茶の葉量を設定する	9
原料量を設定する	9
お手入れ	9～12
修理サービスを依頼する前に	13
別売部品	14
仕様	14
保証とアフターサービス	15

- このたびは自動お茶いれ機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 工事説明書および保証書を販売店から必ずお受けとりのうえ保存してください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

- この自動お茶いれ機には、保証書を別途添付しております。
 - 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
 - この自動お茶いれ機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- この自動お茶いれ機の補修用性能部品の保有期間は、2016年2月までです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

出張修理

13ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は.....

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容.....

品名	自動お茶いれ機
形名	HPT-117M ₁ /117MP ₁ HTC-118M ₁ /118MP ₁ /118MP ₁ -1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入しておくとう便利です。
	TEL



愛情点検

長年ご使用の自動お茶いれ機の点検を！

このような症状はありませんか。	●ブレーカーがたびたび切れる。 ●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。 ●運転音が異常に大きい。 ●電源スイッチの動作が不確実。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
-----------------	--	---	------	---

別売部品

次のものが別売部品として用意されています。詳しくは販売店にご相談ください。
カップホルダー

自動お茶いれ機本体に取り付け可能です。
カップサイズや収容量の違いで数種類の用意があります。

茶の葉・粉末原料

自動お茶いれ機専用として、特に厳選された茶の葉・粉末原料を用意してあります。
茶の葉・粉末原料は粒度や吸湿性の違いにより正常な動作ができないことがありますので、必ず指定の茶の葉・粉末原料をご使用ください。

置台

自動お茶いれ機本体を床タイプとして使用する場合に置台CAT-8Mを使用します。
HTC-118MPi-1は25Lのお湯を沸き上げるタンクを搭載した専用置台CAT-9Mとセットで大容量タイプとして使用します。

排水ホース・接続パイプ

排水を排水口へ直接排水する場合に使用します。
置台CAT-8Mには付属しています。

仕 様

項 目		HPT-117M _i	HPT-117MP _i	HTC-118M _i	HTC-118MP _i	HTC-118MP _i -1
外 形 寸 法		幅340mm×奥行445mm×高さ650mm				
重 量		15kg				
タンク容量		7L	9L	7L	9L	
湯 温		約90℃（80～94℃可能）				
原料容器容量		約800ml				
1回の茶の葉量		約8g（可変）			－	
茶 の 葉 交 換		マイコン湯量記憶による自動、又は茶の葉交換ボタンによる手動交換			－	
給 水 方 式		手動給水式	水道直結式	手動給水式	水道直結式	
給 水 管 口 径		－	管用並行ねじG1/2A	－	管用並行ねじG1／2A	
電気 定格	電 源	単相交流100V 50／60Hz 共用				
	消費電力	1,020W				1,330W
表 示		LEDランプ				
加熱 装置	電熱装置	シーズ線ヒーター（1,000W）				シーズ線ヒーター（1,300W）
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール				
	安全装置	過度過昇防止器				
付属品		取扱説明書、工事説明書、保証書				
		蒸気口エルボ	－	蒸気口エルボ スパーフィルター	スパーフィルター	接続パイプ 排水ホース スパーフィルター

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
据え付け工事の完了後は、試運転を行い異常がないことを確認してください。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表 示	表示の意味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定されること ” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定されること ” を示します。

- ＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- ＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁 止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指 示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注 意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

免責事項

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

警告

異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店に点検・修理を依頼する

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

D種接地工事が必要です。またアース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。



アースの接続

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

タンクには手を触れない

高温になっており、やけどをする原因になります。



接触禁止

茶の葉交換動作中は機構部に手を触れない

けがをする原因になります。

(HPT-117Mシリーズ)



接触禁止

防湿ヒーターには手を触れない

高温になっており、やけどをする原因になります。

(HTC-118Mシリーズ)



接触禁止

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

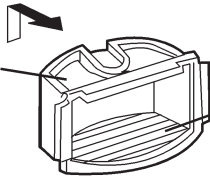
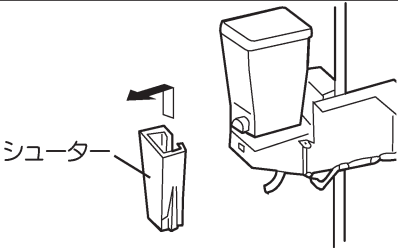
修理サービスを依頼する前に

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
湯が沸かない	●電源プラグがはずれていませんか？	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	●電源スイッチが切れていませんか？	●電源スイッチを入れてください。
	●断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていませんか？ (水道直結タイプの場合)	●同上の理由でヒーターに通電されなくなります。給水配管の止水栓を開いてください。
湯がぬるい	●湯温の設定が低くなっていませんか？	●お望みの温度に設定してください。
	●湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？ (水道直結タイプの場合)	●湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックはしっかりと閉めてお使いください。
	●断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていませんか？ (水道直結タイプの場合)	●給水配管の止水栓を開いてください。
適温ランプが消えている	●連続して多量のお茶やお湯を注出した後ではありませんか？	●再び湯が沸くまでお待ちください。
	●「湯が沸かない」「湯がぬるい」の項参照。	●同左。
運転音が大きい	●機体が不安定ではありませんか？	●床にかいものなどをして、機体がグラグラしないように安定させてください。
	●機体が他の製品に触れていませんか？	●他の製品から離してください。
飲料の味がまずい 飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	●湯・茶の葉・粉末原料の量は適切ですか？	●湯・茶の葉・粉末原料の量を、お好みの味となるように再設定してください。
	●茶の葉・粉末原料の種類をかえていませんか？	●指定の専用茶の葉・粉末原料をご使用ください。
	●茶の葉・粉末原料は充分入っていますか？	●茶の葉・粉末原料を補給してください。
	●原料容器出口がつまっていますか？	●湿気が多いと出口がつまることがありますので、原料補給時につまりを取り除いてください。
	●シューターは取り付けられていますか？	●シューターを取り付けてください。 シューターがないと茶の葉・粉末原料が飛び散ります。
原料が固まる (HTC-118Mシリーズ)	●夜間や休日など電源を切っていませんか？	●防湿ヒーターを働かせるため、電源を入れたままご使用ください。

毎日のお手入れ <HTC-118Mシリーズをご使用の場合>

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。

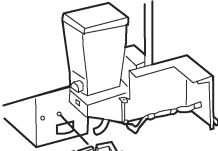
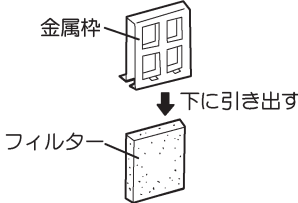
機械内外のホコリや汚れは、きれいなフキンでふき取ります。

手順	部 品	お手入れのしかた	
—	ミキシングボール	[リンス] ボタンを押して湯を流し、ミキシングボールを洗い流してください。このお手入れは電源を入れて行ってください。	
①	カップステーション ス ノ コ	少し持ち上げてから手前に取りはずします。 洗浄した後は水気を良く切ってください。	 カップステーション スノコ
②	シ ュ タ ー	上に持ち上げてはずしてください。 洗浄した後、水気をよく切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。	 シューター
③	排 水 皿	本体底部から引き出して、ぬるま湯で洗ってください。	

週に一度のお手入れ <HTC-118Mシリーズをご使用の場合>

①②③の部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。

取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた	
④	ミキシングボール	手前に引いてはずし、洗浄した後、水気をよく切り、取り付けてください。	 ボールカバー 飾りねじ ミキシングボール
⑤	ボ ー ル カ バ ー	飾りネジ2個を緩めて、少し手前に引き、下側へはずしてください。	
⑥	フ ィ ル タ ー	ミキシングボール部の奥にあるフィルターを、金属枠をつまみ下に引き出します。	 金属枠 フィルター
—	湯 タ ン ク	排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。	

月に一度のお手入れ <HTC-118Mシリーズをご使用の場合>

②の部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。

取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
⑦	原 料 容 器	原料容器中の原料を出して、ぬるま湯で洗浄した後、十分乾燥させてください。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

地震などによる転倒防止の処理をする

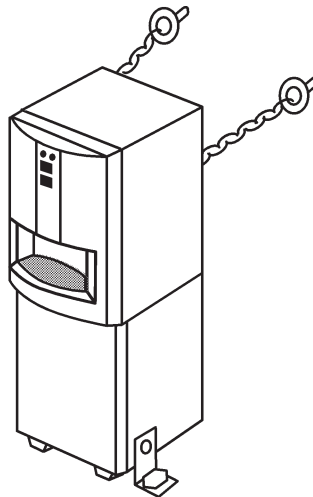
振動により転倒し、けがの原因になります。

自動お茶いれ機の転倒防止

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、本体背面のナイロン製フックを使用して、壁や柱に丈夫なチェーンやワイヤーなどでたるみのないよう固定してください。

別売置台の転倒防止

別売置台を使用する場合は、グラグラしないような場所に設置し、別売置台に付属する床固定金具で確実に固定します。



転倒防止

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く

感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する

電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない

扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない

水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

本体の近くにガス類や引火物を置かない

発火の原因になります。



引火物禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

お湯（30℃以上）や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指 示

お願い

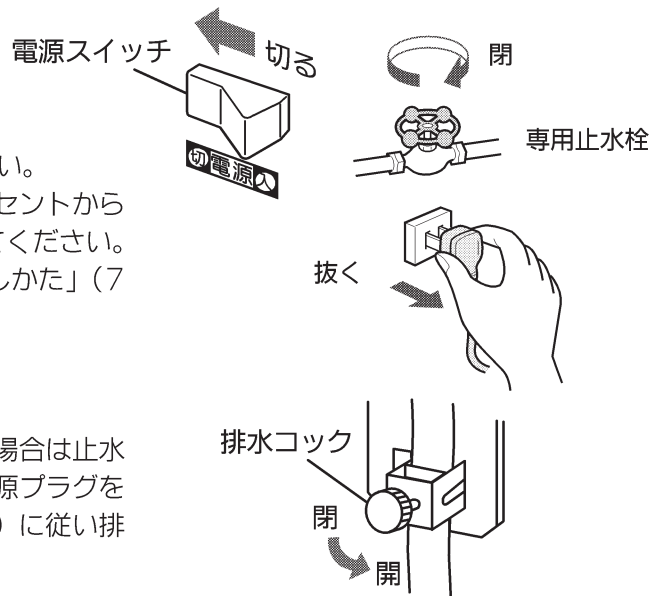
長時間お使いにならないとき

2日以上ご使用にならなかったとき

雑菌が繁殖している恐れがあります。

湯タンクの水を排水し、新しい水道水と入れ替えてください。

前面板を開け、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「排水のしかた」（7ページ参照）に従い排水してください。排水が終了したら排水コックを右に回して閉め、「給水のしかた」（7ページ参照）に従い給水してください。



1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全部取り出します。水道直結タイプの場合は止水栓を閉めます。前面板を開け、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「排水のしかた」（7ページ参照）に従い排水してください。

お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

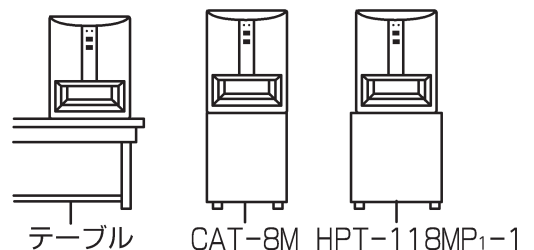
水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

据付場所・給水方式・排水方式

据付場所

既存のテーブルやカウンターの上にセットする卓上タイプと、別売置台CAT-8Mの上にセットする床上タイプの2つの使いかたができます。

HTC-118MP₁-1は床上タイプのみとなります。



給水方式

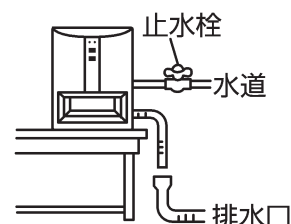
別売のポリタンクなどで給水する手動給水タイプHPT-117M₁、HTC-118M₁と、水道に直結し給水する水道直結タイプHPT-117MP₁、HTC-118MP₁、があります。

HTC-118MP₁-1は水道直結タイプのみとなります。



排水方式

排水は別売の排水ホースを使用して、排水口へ直接排水することをおすすめします。排水口への直接排水ができない据付場所では、排水皿を排水容器として使用できますが、溢れさせないように数回に分けて排水します。水道直結タイプHPT-117MP₁、HTC-118MP₁、HTC-118MP₁-1をご使用の場合は、万一の水漏れに備えて必ず排水口への直接排水でご使用してください。



お手入れ (つづき)

週に一度のお手入れ <HPT-117Mシリーズをご使用の場合>

手順	部 品	お手入れのしかた
一	湯 タ ン ク	排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。

月に一度のお手入れ <HPT-117Mシリーズをご使用の場合>

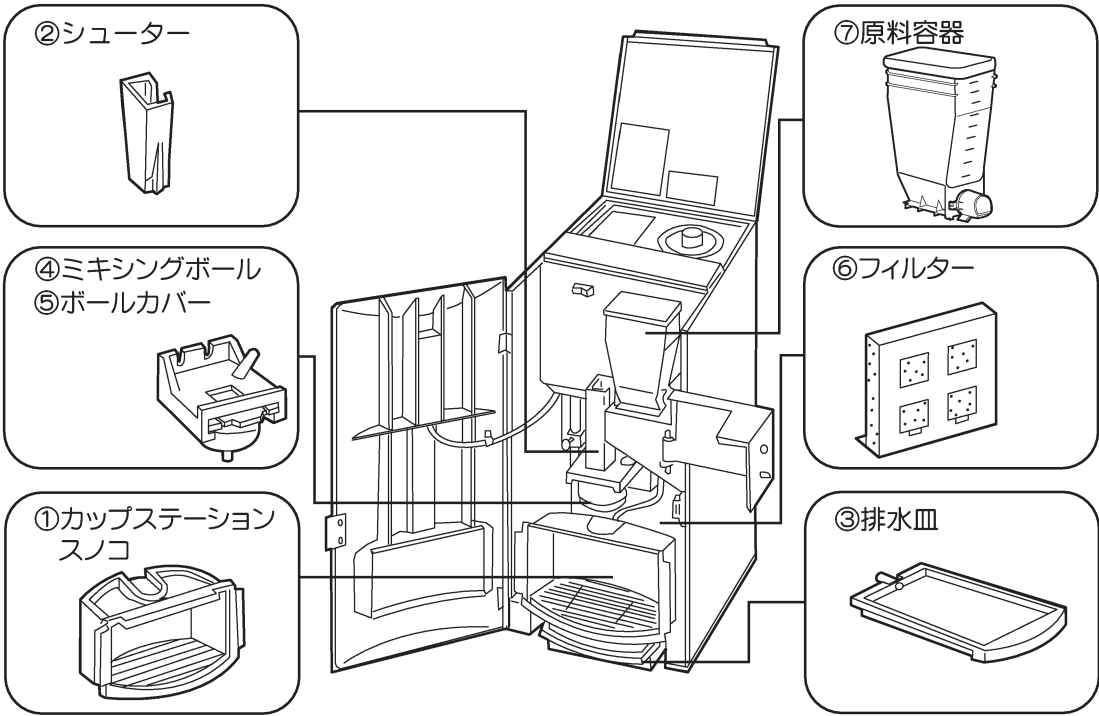
①の部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
⑥	原 料 容 器	原料容器中の原料を出して、ぬるま湯で洗浄した後、十分乾燥させてください。
⑦	シ ャ ワ ー ノ ズ ル	パイプからシャワーとノズルをはずし、洗浄してください。湯垢などがたまり、目がつまってお湯の出が悪くなる場合があります。このようなときは、ノズルをシャワーからはずして、ピンのようなもので穴を通します。 ノズルをシャワーに取り付けるときは、ノズルの凸が下になるように取り付けます。シャワーは確実にパイプに差し込んでください。         

お手入れの時期と手順 <HTC-118Mシリーズをご使用の場合>

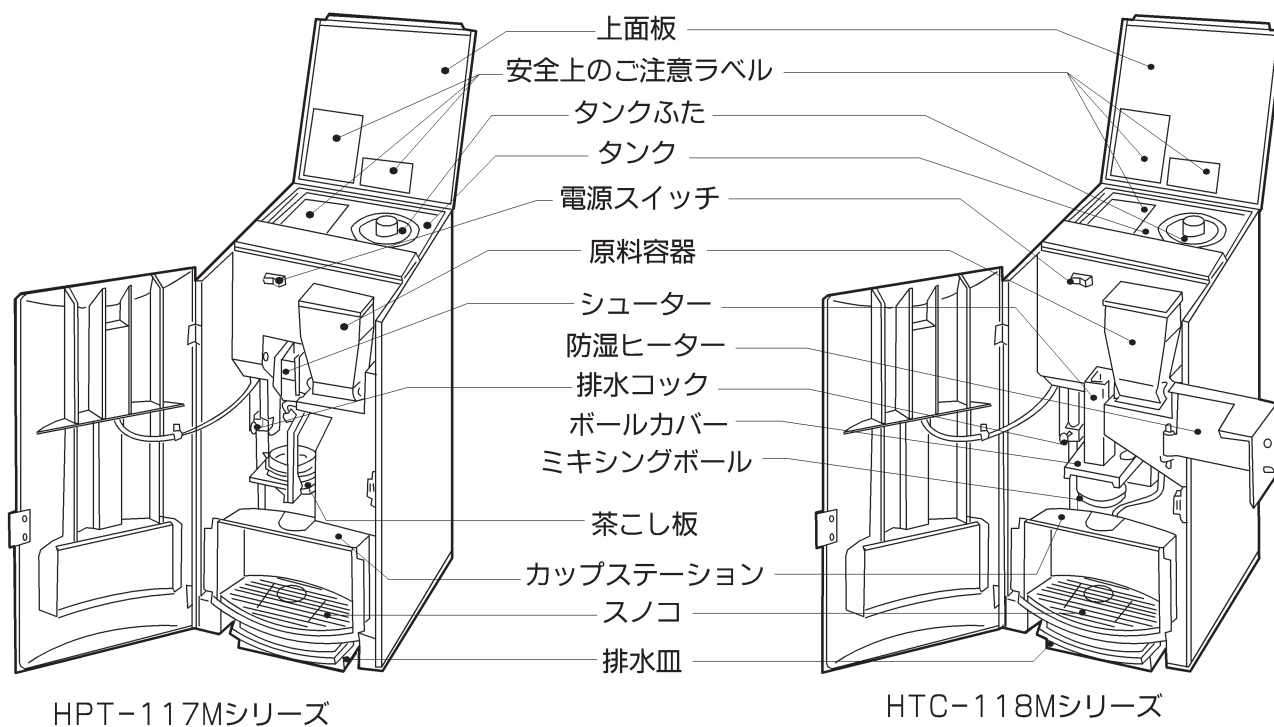
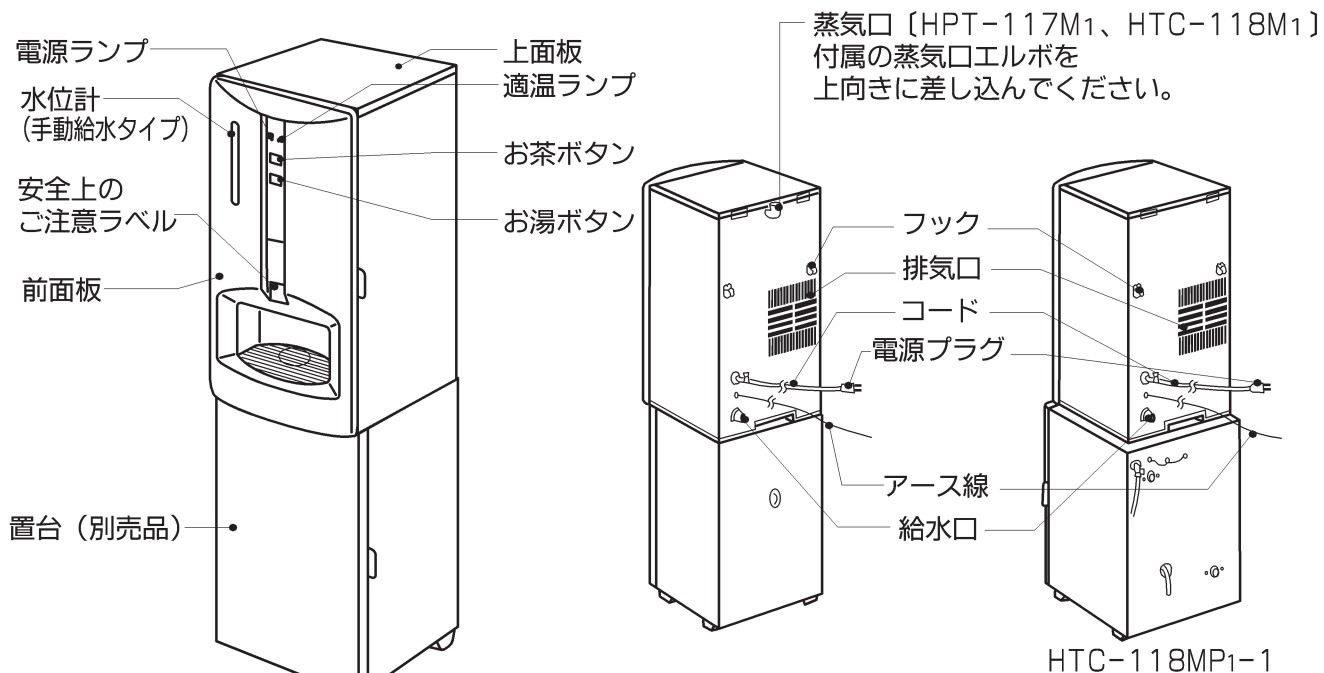
お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。
順番が違うと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順でおこなってください。

- 毎日のお手入れ … ①②③とリンスボタンによるリンス洗浄
- 週に一度のお手入れ … ④⑤⑥と湯タンクの排水
- 月に一度のお手入れ … ⑦



各部のなまえとはたらき

本 体



はじめてご使用になる前に

⚠ 警告

湿気の多いところや、水のかかる
ところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

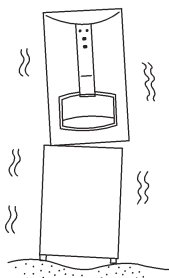
D種接地工事が必要です。またアース線は
ガス管・水道管・避雷針・電話線などへの
接続はしないでください。



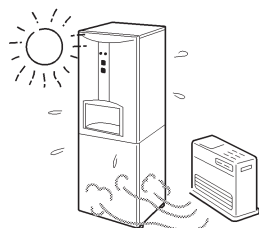
アースの接続

設置環境の確認

床は丈夫で平坦な場所に据えつけられていますか
床が傾いていたり不安定な場所では、
転倒したり振動や騒音の原因になり
ます。

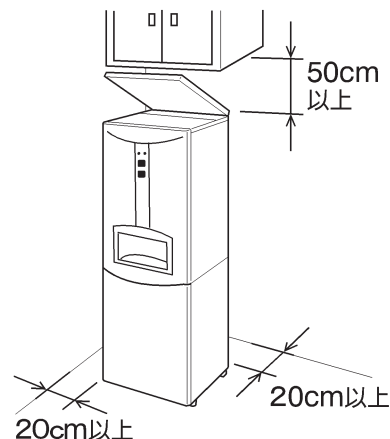


直射日光の当たる場所や、熱器具のそばに据付け
られていませんか
過熱し故障の原因になります。



風通しが良く保守や修理サービスの容易なところに据え
付けられていますか

必ず両側面と後面は20cm以上の隙間を開けてください。
スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉を開け
たとき物に当たったりします。また、上側は修理サービ
スのときに、上面板が開けられるように50cm以上空間を
開けてください。



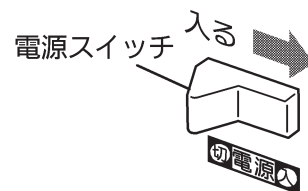
輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす

内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

電源の入れかた

電源を入れる前に手動給水タイプは湯タンクに満水レベルまで給水し、水道直結タイ
プは止水栓を開いてください。

前面板を開けて電源スイッチを「入」にすると電源が入り、前面板の運転ランプが点
灯し、内部の換気ファンが回ります。



HTC-118Mシリーズをご使用の場合

電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。夜間等に電源スイッチを切っ
ておくと、防湿ヒーターが動かず原料が固まり出なくなることがあります。

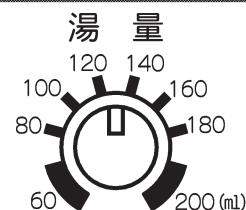
より衛生的にご使用いただくために

工場出荷時に湯タンクや本体内の配管内部を洗浄していますが、より衛生的にご使用いただくために、つぎの手順を2～3回
繰り返し内部を洗浄してください。

1. 「給水のしかた」（7ページ参照）に従い給水します
2. 前面板操作部の各飲料ボタンを押し、それぞれコップに4～5杯分の水を排水します
3. 「排水のしかた」（7ページ参照）に従い本体内部の水を排水します
4. 再度、給水してからご使用ください

湯量を設定する

お茶ボタンを押したときに注出されるお茶の量を「湯量」つまみで設定します。
カップの大きさなどに合わせ、お好みの量に設定してください。
(手動給水の場合は、タンクの水位により湯量に変化します)



茶の葉量を設定する

茶の葉量（初回）の設定

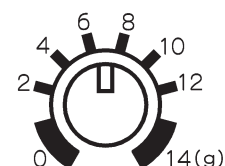
茶の葉を交換したときに新しい茶の葉を出す量を「茶の葉（初回）」つまみで設定します。「茶の葉交換」ボタンを押して初回の茶の葉を出し、お茶ボタンを押してお茶を注出して濃さを確認してください。この操作を数回繰り返して1杯目に注出されるお茶がお好みの濃さになるように設定してください。

茶の葉量（追加）の設定

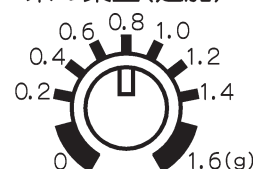
茶の葉を交換するまでのお茶の濃さなるべく均一になるように1杯ごとに追加する茶の葉量を「茶の葉（追加）」つまみで設定します。
0gに設定して茶の葉を追加しないで使用することもできます。
(目盛りの数字はおよその目安で使用条件により変化します。)

HPT-117Mシリーズ

茶の葉量（初回）



茶の葉量（追加）

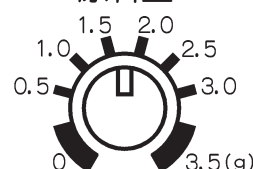


原料量を設定する

お茶の濃さのお好みに応じて「原料量」つまみで設定します。
(目盛りの数字はおよその目安で使用条件により変化します。)

HTC-118Mシリーズ

原料量



お手入れ

警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る
感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

部品を取りはずし洗浄するときは

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

汚れが落ちにくいときは

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

原料容器を着脱するとき

茶の葉・原料を入れたままで、原料容器を着脱するとき、こぼれないように静かに取り扱ってください。

お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れてご使用ください。

茶の葉の入れかたと交換条件

HPT-117Mシリーズ

指定の茶の葉以外はご使用にならないでください。

茶の葉の種類によって茶の葉の大きさなどが異なると、正常な動作ができないことがあります。

詳しくは、販売店にご相談ください。

原料容器に茶の葉を入れる

原料容器の蓋をとり、上から原料を静かに入れます。原料容器の容量は約800ml（専用茶で約300g）です。

原料容器をたたいたりして、茶の葉を無理に詰め込まないでください。内部で固まり出なくなることがあります。

茶の葉の交換条件の変更

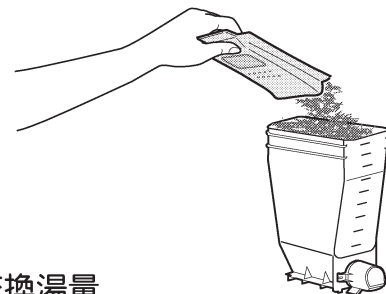
出したお茶の量をマイコンが記憶し、設定した量に達すると自動的に茶の葉を交換します。

茶の葉の交換条件は「茶の葉交換湯量」つまみで設定します。

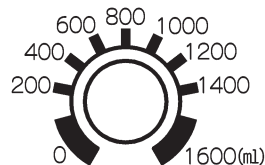
0mlに設定して茶の葉を毎回交換して使用することもできます。（目盛りの数値はおよその目安で使用条件により変化します。）

手動で交換するとき

お手入れの後や手動で交換したいときは、「茶の葉交換」ボタンを押します。「茶の葉交換」ボタンは、連続して押すと故障の原因となります。茶の葉が出終わった後、10秒以上の間隔をあけてください。



茶の葉交換湯量



茶の葉交換



原料の入れかた

HTC-118Mシリーズ

指定の原料以外はご使用にならないでください。

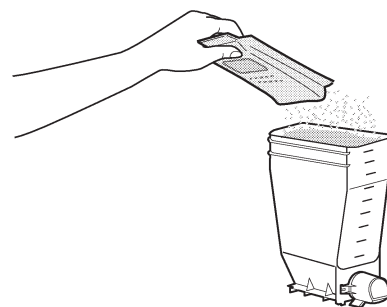
原料の種類によって粒度や吸湿性が異なると、正常な動作ができないことがあります。

詳しくは、販売店にご相談ください。

原料容器に原料を入れる

原料容器の蓋をとり、上から原料を静かに入れます。原料容器の容量は約800mlです。

原料容器をたたいたりして、原料を無理に詰め込まないでください。内部で固まり出なくなることがあります。

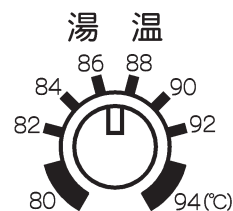


湯温を設定する

「湯温」つまみでタンク内の沸き上げ温度を設定します。

設置場所によっては沸騰する恐れがあります。

そのときは沸き上げ温度を下げて使用してください。

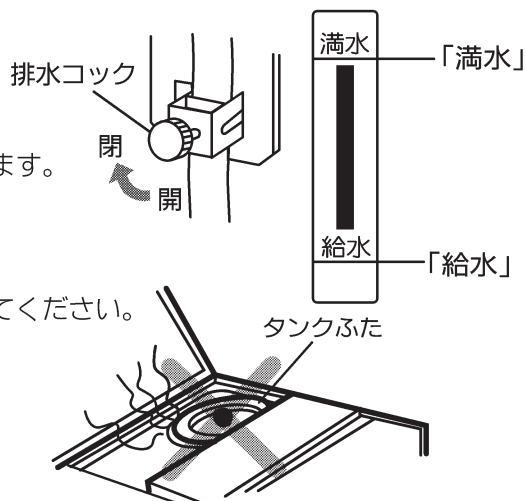


給水のしかた

前面板を開け、排水コックを右に回して閉めます。

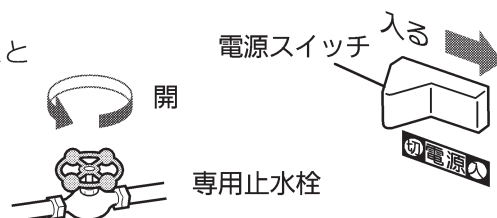
手動給水タイプの場合

- 1 上面板を開いて湯タンクのふたをとり給水する
別売のポリタンクなどで外へ飛散しないように静かに給水します。
水位計の満水以上には入れないでください。
- 2 湯タンクのふたを閉める
湯タンクのふたは蒸気が漏れないように、タンクに密着させてください。
- 3 電源を入れる
電源スイッチを「入」にして電源を入れます。



水道直結タイプの場合

- 1 止水栓を開き給水する
水道の止水栓を開き、本体内部や給水配管からの水漏れがないことを確認します。
- 2 電源を入れる
前面板を開け、電源スイッチを「入」にして電源を入れます。
湯タンクに自動的に給水されます。



排水のしかた

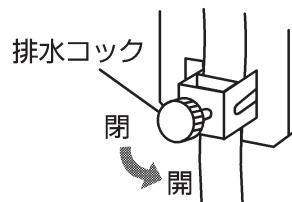
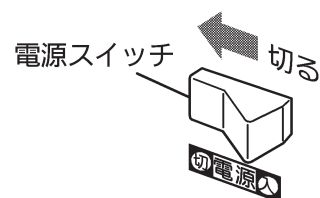
湯タンクの排水

- 1 電源スイッチを切る
前面板を開け、電源スイッチを「切」にして電源を切ります。
- 2 排水コックを開き排水する
排水コックを左に回して排水します。排水皿を排水容器として排水する場合は、必ず数回に分けて溢れさせないように排水してください。

お願い

2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。
湯タンクの水を排水してください。

- 3 排水コックを閉じる
排水が完了したのを確認し排水コックを右に回して閉じます。



お茶・お湯の出しかた

「お茶」ボタンを押すと設定した湯量のお茶を注出することができます。お茶が少ない場合は2秒以内に再度「お茶」ボタンを押すと押し続けている間だけお茶が出ます。
「お湯」ボタンはボタンを押している間お湯が出ます。

